

平成29年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
環境保全全般	1 環境基本計画の推進	・環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進	京都市環境基本計画 京都市環境教育・学習指針	・環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進（京都市環境審議会1回，環境基本計画評価検討部会3回開催） ・京都市環境基本計画年次報告書「環境レポート」の公表（平成30年3月）	（今後の重点事項） 計画及び指針に基づく取組の推進	環境総務課
自然環境とくらしを 気遣う環境の保全	2 生物多様性保全	・生きものの生息環境の保全（「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の運用） ・理解し行動する市民の支援（自然観察会「親子生きもの探偵団」及び「地域生きもの探偵団」の開催，「京の生きものホットスポット調査」の実施） ・活動を促す仕組みとネットワークの構築（「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」の運用，「京都市生物多様性保全活動登録制度」の運用	京都市環境基本計画 京都市生物多様性プラン - 生きもの・文化豊かな京都を未来へ -	・生きものの生息環境の保全（「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の運用（認定数18件）） ・理解し行動する市民の支援（自然観察会「親子生きもの探偵団」及び「地域生きもの探偵団」の開催（11回），「京の生きものホットスポット調査」の実施） ・活動を促す仕組みとネットワークの構築（「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」の運用，「京都市生物多様性保全活動登録制度」の運用（88名29団体））	（今後の重点事項） ・生物多様性に対する理解の促進 ・生物多様性保全の活動に市民・事業者・大学・市民団体等の多様な主体の参画・連携を促すための環境整備	環境管理課
	3 京都環境賞	・環境の保全に貢献する活動を実践している個人，団体を「京都環境賞」として表彰	京都市環境基本計画	・京都環境賞の表彰（17件）		
	4 生活環境の保全	・ダイオキシソ類，微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染物質，主要河川の水質等の常時監視 ・公害関係法令に規定する施設を設置する工場・事業場への立入監視・指導	京都市環境基本計画	・公害関係法令に規定する施設を設置する工場等への監視指導を実施 ・ダイオキシソ類や微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染物質の測定や主要河川の水質調査等の常時監視を実施		環境指導課 環境共生センター
低炭素型のくらしや 持続可能なエネルギー 社会の実現	5 地球温暖化対策条例の推進	・「京都市地球温暖化対策条例」に基づく市民・事業者との連携による取組の一層の促進	京都市地球温暖化対策条例	・「京都市地球温暖化対策条例」に基づく市民・事業者との連携による取組の一層の促進（本市における温室効果ガスの排出量：約752万トン（平成28年度））		地球温暖化対策室
	6 「京都市エネルギー政策推進のための戦略」の推進	＜再生可能エネルギー等＞ ・太陽光発電システム，太陽熱利用システム，蓄電システム，エネファーム（家庭用燃料電池システム）及びHEMSの設置助成 ・創エネ・省エネ設備導入の促進につなげる啓発イベント「すまいの創エネ・省エネ応援パビリオン」の実施 ・ワンストップ窓口におけるすまいの創エネ・省エネ関連設備等の導入相談 ・市民協働発電制度地域コミュニティ版に対する支援制度の充実 ＜バイオマス＞ ・「バイオマス産業都市構想」の策定 ・バイオディーゼル燃料の利用 ・「都市油田発掘プロジェクト」の推進 ・クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化	京都市地球温暖化対策計画<2011-2020> - 気候変動への更なる挑戦 ～低炭素社会実現に向けた道筋 プロジェクト“0”への道～ 京都市エネルギー政策推進のための戦略 京都市バイオマスGO！プラン - 京都市バイオマス活用推進計画 - <2011-2020>	＜再生可能エネルギー等＞ ・太陽光発電システム（492件），蓄電システム（292件），太陽熱利用システム（2件），エネファーム（家庭用燃料電池システム）（554件）及びHEMS（137件）の設置助成 ・創エネ・省エネ設備導入の促進につなげる啓発イベント「すまいの創エネ・省エネ応援パビリオン」の実施（8～10月で計4回） ・ワンストップ窓口におけるすまいの創エネ・省エネ関連設備等の導入相談 ・市民協働発電制度地域コミュニティ版に対する支援の実施（5団体） ＜バイオマス＞ ・平成29年10月，国から「バイオマス産業都市」に選定されるとともに，「京都市バイオマス産業都市構想」を策定 ・バイオディーゼル燃料の利用（BDF製造量：101万L バッカー車136台，市バス104台に使用） ・事業所から排出される生ごみ，紙ごみを用いてエタノールを製造する民間事業者の実証実験に協力。当該技術は，南部クリーンセンター第二工場（仮称）に併設する環境学習施設において，最先端の技術の一つとして紹介することとした。 ・クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化（発電量1億3,739万kWh，売電額7億5,714万円，売電量5,955万kWh）	（今後の重点事項） ・自立分散型エネルギーである太陽光発電システム，蓄電システム，太陽熱利用システム，エネファーム（家庭用燃料電池システム）及びHEMSの更なる利用促進 ・事業者の省エネ・節電の促進に向けた，制度や支援等の推進 ・業務部門の省エネ・節電対策に効果的なBEMS導入を促進させる環境づくりの構築	地球温暖化対策室 施設管理課 施設整備課

平成29年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		平成29年度重点取組				
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考
低炭素型のくらしや 持続可能なエネルギー 社会の実現	7 水素エネルギーの 普及促進		・FCVの普及促進（カーシェアリングの実施、水素学習と合わせたFCV体験乗車事業） ・エネファーム（家庭用燃料電池システム）の設置助成（再掲）		・FCVの普及促進（FCVを活用した有料カーシェアリング事業を実施（貸出実績129件）、スマート水素ステーションとFCVを活用した体験型水素学習事業を実施（実績延べ170人）） ・学校等への水素学習会（9件）、総合防災訓練をはじめとするイベントでの展示啓発及び電源車としての利用（17件）、公用車としての利用 など ・水素エネルギー普及に向けた検討会の実施 ・水素ステーションの誘致に向けた事業者への働きかけの実施 ・エネファーム（家庭用燃料電池システム）の設置助成（554件）（再掲）	
	8 地球温暖化対策の 推進	市民による	・「エコ学区」関連事業等での学区の状況に応じた多彩なプログラム（学習会の開催、省エネ診断の実施等）の実施 ・「DO YOU KYOTO?」推進事業の実施 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の全市立小学校（164校）での実施	京都市地球温暖化対策計画<2011-2020> - 気候変動への更なる挑戦	・「エコ学区」ステップアップ事業による学区の状況に応じた多彩なプログラムの実施（学習会の開催、省エネ診断の実施等） ・「DO YOU KYOTO?」推進事業の実施 ・全市立小学校（164校）における「こどもエコライフチャレンジ推進事業」の実施	
	9 地球温暖化対策の 推進	事業者による	・EMS 普及に向けた事業者への支援 ・KE S 認証取得の促進	京都府エネルギー政策推進のための戦略	・EMS 普及に向けた事業者への支援（（一社）京都産業エコ・エネルギー推進機構における「BEMS導入支援事業補助金」等の実施、「エネルギーマネジメント導入セミナー」の開催、「平成28年度EMS事例集」の発行） ・KE S 認証取得の促進（881件保有）	（今後の重点事項） ・自立分散型エネルギーである太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システム、エネファーム（家庭用燃料電池システム）及びHEMSの更なる利用促進 ・事業者の省エネ・節電の促進に向けた、制度や支援等の推進 ・業務部門の省エネ・節電対策に効果的なBEMS導入を促進させる環境づくりの構築
	10 地球温暖化対策の 推進	運輸部門における	・エコドライブ推進事業の実施 ・エコカーへの転換の促進	- クルマのかしこい利用を進める - 京都市自動車環境対策計画<2011-2020> 京都市役所CO2削減率実行計画	・エコカーへの転換の促進（タクシー・レンタカー業者への電気自動車等導入補助（EV6台）） ・京エコドライブ宣言登録者数の拡大（累計登録者数186,239人）	
	11 地球温暖化対策のた めの市役所の率先実 行		・京都市役所からの温室効果ガス排出量の削減を推進		・京都市役所からの温室効果ガス排出量を22.9%削減（平成16年度比）（平成28年度実績（最新値））	
	12 地球温暖化対策の 推進	国際的な	・京都議定書誕生20周年記念「地球環境京都会議（KYOTO+20）」（仮称）の開催 ・「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式及び「京都環境文化学術フォーラム」の開催		・京都議定書誕生20周年記念「地球環境京都会議2017（KYOTO+20）」を開催し、世界18箇国・地域から約1,000人の参加の下、温室効果ガスの大排出源である都市の責務を示した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を発表（平成29年12月） ・「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式及び「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウムの開催（平成30年2月）	

地球温暖化対策室

地球温暖化対策室
環境管理課

地球温暖化対策室

平成29年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		平成29年度重点取組					
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
ごみを出さない循環型社会の構築	環境先進都市・京都の更なる進化に向けた2Rと分別・リサイクルの促進	13	<2R> ・食品ロス削減等推進事業 ・生ごみ減量推進事業 ・事業者報告制度の運用 ・市民モニター制度の運用 ・イベント等のエコ化の推進 ・マイボトル推奨等サポート事業の実施 ・環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施 <分別・リサイクル> ・小型家電リサイクル資源の活用～みんなで集めよう！都市鉱山から金メダル～ ・地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の取組の推進 ・地域単位で古紙類、古着類、缶・びん類等の資源物を回収するコミュニティ回収の拡大・支援 ・バイオディーゼル燃料として活用する使用済てんぷら油の回収量の拡大 ・せん定枝の分別・リサイクル推進事業の実施 ・移動式拠点回収事業の積極的な推進 <事業ごみ> ・事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行 ・事業ごみの分別徹底に向けた排出事業者等への指導強化 ・大規模事業所、特定食品関連事業者に対するごみ減量指導 ・業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発	新・京都市ごみ半減プラン ・京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020） -	<2R> ・地域学習会「しまつのこころ楽考」の実施（287回開催） ・フードバンク活動等に取り組む団体に対する助成（4件） ・食品の販売期限等に係る商慣習の見直しに関する調査・社会実験の実施 ・エコ修学旅行の推進（233校が参加，エコバッグ20,066枚配布） ・事業者報告制度の運用（提出事業者数488件（提出率100%）） ・市民モニター制度の運用（モニター数54人，事業所等訪問実績30件） ・イベント等のエコ化の推進（京都市認定エコイベント138件，リユース食器利用促進助成49件，分別リユースごみ箱の貸出54件） ・マイボトル推奨等サポート事業の実施（19社265店舗） ・環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施（参加人数2,673人，実施回数134回） <分別・リサイクル> ・市民が排出した使用済小型家電から回収した「金」を100%使用した「京都マラソン2018の優勝メダル」の制作，優勝者への授与 ・地域や学校単位での生ごみ，落ち葉等の堆肥化の取組の推進（生ごみ・落ち葉等のたい肥化の活動団体に対する助成9件） ・地域単位で古紙類，古着類等の資源物を回収するコミュニティ回収等の集団回収の拡大・支援（団体数2,763団体（平成30年3月末）） ・バイオディーゼル燃料として活用する使用済てんぷら油の回収量の拡大（1,811拠点，回収量184,989リットル） ・せん定枝の分別・リサイクル推進モデル事業の実施 ・移動式拠点回収事業の実施（350回） （今後の重点事項） ・「新・京都市ごみ半減プラン」に基づく取組の推進	ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 環境共生センター	
	第3次京都市産業廃棄物処理指導計画の推進	14	・排出事業者や地域から信頼される処理業者の育成・指導	第3次京都市産業廃棄物処理指導計画	・排出事業者への指導の充実（立入指導件数（172件）） ・優良な処理業者の育成に向けた情報公開の推進 ・啓発や環境教育の効果的な実施（第18回環境フォーラムきょうとの開催（参加者数963人），夏休みエコバスツアー～さんばい施設見学会～（参加者数90人））		廃棄物指導課
	大岩街道周辺地域の良好な環境づくり	15	・大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施 ・民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施 ・岡田山周辺の土壌，地下水等の環境調査，廃棄物検査及び交通量調査の実施	—	・大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施（職員による監視週3回，委託による監視週4回（平日昼間2回，平日早朝1回，休日1回）） ・民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施（撤去量44,970㎡） ・岡田山周辺の土壌等の環境調査，廃棄物検査及び交通量調査の実施		環境指導課 廃棄物指導課

平成29年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針		平成29年度重点取組					
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所屬等
ごみを出さない循環型 社会の構築	16	ごみの適正処理や 既存施設の整備	・焼却灰の資源化の試行実施 ・クリーンセンター等における廃棄物の適 正処理及び効率的な運営 ・し尿前処理施設の再整備	新・京都市ごみ半減プラン ・京都市循環型社会推進 基本計画（2015-2020） -	・焼却灰の資源化の試行実施 （焼却灰のセメント原料化及び人工砂化の試行実施） セメント原料化：約140 t 人工砂化：約200 t ・クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な 運営 ・不適物搬入調査の実施（186件） ・し尿前処理施設の再整備（平成30年3月完了）	（今後の重点事項） ・「新・京都市ごみ半減プラン」 に基づく取組の推進	まち美化推進課 まち美化事務所 生活環境美化センター 施設管理課 施設整備課 クリーンセンター 埋立事業管理事務所 魚アラリサイクルセンター
	17	南部クリーンセン ター第二工場（仮 称）の建替え整備	・南部クリーンセンター第二工場（仮称） の建替え整備		・南部クリーンセンター第二工場（仮称）の建替え整備 （平成31年度の稼働を目指し、整備工事を実施中）		施設建設課
	18	地域との連携に 基づく総合的な 環境行政の取組 推進	・地域における自主的なごみ減量，リサイ クル活動の拡大		・地域における自主的なごみ減量，リサイクル活動を推進		ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 （エコまちステーション）
	19	観光地トイレの おもてなし向上 プロジェクト	・国際文化観光都市・京都にふさわしいト イレ環境の整備の推進	—	・国際文化観光都市・京都にふさわしいトイレ環境の整備の推進 （「観光トイレ制度」の認定箇所41箇所，公衆トイレのリニュー アル12箇所）	（今後の重点事項） ・観光地におけるトイレの充実	まち美化推進課